残したい植物と風景（その２）

ーイソスミレの群生する砂丘ー

石　沢　　進

上越市柿崎海岸（2010年４月26日）

上越市柿崎海岸に生育するイソスミレ

新潟県には、長い海岸線が伸び、砂丘が発達している。しかし、砂丘は、人が植林、耕地、宅地、道路などで利用している。また、河川にダムを建設して洪水防止のため山地から土砂の流失が抑えられ、海岸に土砂の堆積が少ない上に、日本海の荒波で砂丘の砂が流失し、砂丘は痩せ細っている。その流失を止めるためにコンクリートで護岸することで自然の砂丘が減少してしまっている。つまり、人の手の加わわらない砂丘がほとんど消滅している。その結果、大きな打撃を受けているのが、砂丘に成立する海浜植物群落である。県内の砂丘には、分布上貴重なハマツメクサ、ハマベンケイソウ、ハマグルマなどが生育している。それらが砂丘の減少により数を減らしてきている。イソスミレも海岸沿いに県内各地に見られたが、消滅の一途を辿っている。特にイソスミレが多数集まって生育し、中には大きな株に成長しているところは、極めてまれになっている。したがって、柿崎のイソスミレの群生は貴重である。幸い上越市では、柿崎海岸を自然環境保全地域に指定して保護されているが、安心はできない。行政の継続した気配りと、訪れる方々にその大切さを理解していただき、現状を残しておきたいものである。

上越市柿崎海岸のイソスミレ生育地（2010 年 4 月 25 日）

写真 1　海岸近くの群生

写真 2　大きく成長した株

写真 3　柏崎海岸 自然環境保全地域（表示板）

サツマイモの根はどの長さまで肥厚するか？［表紙 2 写真解説］

表紙 2 写真　　［2010 年 11 月 3 日　東蒲原郡阿賀町］

東蒲原郡阿賀町の斎藤久夫氏宅を訪れた際にサツイモの長く肥厚した「いも」を見せていただいた。長さ約 30cm にわって肥厚した「いも」が多く見られたが、その中に 3 倍近くに太った「いも」があったので、いただいてきて写真に撮ってここに掲載した。これ以上に肥厚したサツマイモの「いも」があったら追加情報をいただければ幸いである。